

## 2010年度大学自己点検・評価結果について

関西学院評価推進委員会

委員長 ルース・M・グルーベル

関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（P D C Aサイクル）を強化するため、認証評価と連動させて自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築しました。

翌2005年度には大学において自己点検・評価を実施し、その報告書をもとに2006年度に大学基準協会による認証評価を受け「適合」の認定となりました。2007年度からは認証評価の間の年（中間年）として学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価（進捗状況報告）を毎年実施してきました。そして、2009年度は、①複数部局から、目標はかなりの期間が経過しているので設定しなおす必要があるとの指摘を受けたこと、②新基本構想・新中期計画との整合性の確保が必要であったこと、③大学基準協会が認証評価の2巡目に向けて評価項目を変更したこと、などの理由から、毎年行ってきた自己点検・評価（進捗状況報告）は行なわず、評価項目を見直すと共に目標を再検討し、新たに設定を行ないました。

本年度（2010年度）は、大学基準協会に準拠した新しい評価項目により、2009年度に設定した目標・指標に基づき2008年度と同様の方式で自己点検・評価（進捗状況報告）を実施しました。3月から関係データの作成・収集を開始し、6月より学部・部局が自己点検・評価を実施、全学の自己点検・評価の実務作業を担う評価専門委員会に自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）を提出しました。7月中旬からは評価専門委員会（学外委員6名《大学関係4名、短期大学関係2名》・学内委員9名）が学部・部局の自己点検・評価に対して「学内第三者評価」を行い、10月には自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）返却に際して、相互に内容を説明・確認し合い、よりよい自己点検・評価や組織的な改善への取り組みを行っていくために、評価専門委員会と学部・部局が意見交換を行いました。

その後、学部・部局による「学内第三者評価を受けての追加記述」と「公示」「意見申し立て」を経て、本日、関西学院評価推進委員会において「2010年度大学自己点検・評価報告書」が承認されましたので、本学ホームページで公表いたします。

なお、本年度は、2006年度の認証評価において付された8つの助言に対する「改善報告書」を7月に大学基準協会へ提出した他、現在、2010年度新設の「国際学部」「高等教育推進センター」が目標・指標を検討しています。また、既存学部・部局においても設定した目標・指標に修正や変更、追加がある場合は受け付けております。これらのことも併せてご報告いたします。

以上